

登録コード:MH270300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	臨床検査解析学 【22M以降】 Assessment of Laboratory Tests			
担当教員	太田 浩良 松田 和之			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	検査技術科学専攻/ 3 年 後期 水曜・ 1 時限			
単位数、講義室	2 単位 保健学科 2 2 2 講義室		遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH22カリ・保健			
	生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。		各種疾病の病態と発生機序に関わる臨床検査の意義を理解できる。	
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		各種疾病の病態の解析に必要な臨床検査の適切な選択ができる。	
	MH25カリ・保健・検査、MH23カリ・保健・検査			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		各種疾病の病態と発生機序に関わる臨床検査の意義を理解できる。	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
	全学横断特別教育プログラム			
授業概要	Reversed CPC演習により検査データを病態と関連づけて学習する。 （臨床検査解析学ⅠとⅡは連続して講義、演習を展開する） 本授業は、2年次に学んだ「一般検査学」、「細菌検査学」、「病態化学検査学」、「臨床医学総論」、「血液検査学」および「免疫検査学」の知識を前提とします。そして、本授業の内容は、4年次の臨床実習における重要な基礎知識となります。 本授業は、担当教員の医療機関における臨床検査専門医としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第 1 回（ 9月30日） 臓器別疾病の症候と検査診断学（概要） 代謝・栄養障害（栄養状態の解析） 第 2 回（10月 7日） 感染症（感染症の存在診断） 第 3 回（10月21日） 腎・尿路・泌尿器疾患（炎症性疾患） 第 4 回（10月28日） 肝・胆・膵疾患（肝・胆道系疾患） 第 5 回（11月 4日） 血液・造血器疾患（骨髄病変） 第 6 回（11月11日） 細胞障害（逸脱酵素と細胞傷害） 第 7 回（11月18日） まとめ・中間試験 第 8 回（11月25日） 電解質異常・動脈血ガス（電解質異常） 第 9 回（12月 2日） 染色体・遺伝子異常症（染色体異常症） 第10回（12月 9日） 内視鏡と感染管理(内視鏡検査概説) 第11回（12月16日） R-CPC演習 第12回（12月23日） R-CPC演習 第13回（ 1月 6日） R-CPC演習 第14回（ 1月13日） R-CPC演習 第15回（ 1月20日） R-CPC演習・授業アンケートの実施 第16回（ 1月27日） 期末試験			
授業の進め方	スライド教材を使用した講義に加え、症例の検査データをグループ内およびグループ間で考察することにより検査データの解釈を行う。			
テキスト，教材，参考書	教科書 異常値の出るメカニズム（医学書院） 病態がみえる 検査値の本当の読み方 （羊土社） 参考書 臨床検査法提要（金原出版） 臨床検査医学講座臨床医学総論/臨床検査医学総論(医歯薬出版）			
成績評価の方法	中間試験・期末試験の結果に基づいて、総合的に成績を評価します。 中間試験が30％、期末試験が70％とし、総計の60％以上の得点を合格とします。中間試験は、第7回（11月20日）に、実施します。 中間試験では、検査データの解析法の基本を確認します。 期末試験では、臨床検査全般にわたる基礎知識と検査データの解析能力を確認します。中間試験および期末試験の結果については、実施後にフィードバックします。			

成績評価の基準	成績評価の判定基準は、下記の通りとする。 90-100点：秀 80-89点：優 70-79点：良 60-69点：可 なお、これらの採点の基準は、行動目標に関連した設問に対する選択式解答の正誤だけでなく、記述式解答における用語の適切さ、説明内容の範囲の広さや詳細さ、説明内容の論理的な妥当性などを指標とし、授業で説明した範囲における、最低限の解答内容であれば「水準にある」、やや詳細な解答内容であれば「やや上にある」、十分に詳細な解答内容であれば「かなり上にある」、授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な解答内容であれば「卓越している」と判定します。
事前事後学習の内容	【事前学習について】 教科書での予習用に、次回の授業のレジメ（解析用検査データ）をe-ALPSにアップロードします。 【事後学習について】 R-CPCについては、解説の補足資料を授業後にe-ALPSにアップロードします。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間15時間（1時間×15回）＝45時間 ＊以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	質問、相談には講義中および研究室にて対応します。 質問への対応：太田 浩良 hohta@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：火曜日 12:10～13:00 保健学科中校舎 太田研究室